※令和４年度以降入学生用

学校番号	110

令和５年度　芸術科

教科	美術Ⅱ	科目	美術	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術Ⅱ「高校美術２」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画、デザイン、油彩、鑑賞の４分野について学ぶ
テーマを設定し創造的に表現できる工夫をする
観察をして表現する基礎的な力を身近なものを対象に学ぶ。
自己の内面表現、個性ある作品つくりを考えさせ、集中力、洞察力を高める

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした作品作りを念頭におき発想したものを表現するために用具、画材を活用しているか	自己を追求し、個性ある作品作りを目指し、常に自己との対話を欠かさず制作し、他人との比較でなく自分の目指すものを形にしていく	美術や芸術文化に関心を持ち、個性ある創造力の向上、創作に対する意欲、制作に取り組む態度と熱意の向上を目指す。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	想定デッサン	立方体をイメージし自由に分割した状態を創造しデッサンする	a:創作意図を理解しているか b:遠近法、陰影、質感、基本的な明度表現、鉛筆の使い方が習得できているか c:集中できているか、工夫をしているか	エスキース	作品	作品観察
	色彩練習	B3サイズのパネルによるイラスト表現	a:構図、色だし、筆の使い方、混色について理解できているか b:色彩表現を理解し制作に集中できたか c:集中力、自己評価	下絵	作品	作品観察
二学期	自画像1	鉛筆デッサンによる自画像制作	a:創作意図を理解しているか b:遠近法、陰影、質感、基本的な明度表現、鉛筆の使い方が習得できているか c:集中できているか、工夫をしているか	下絵	作品	作品観察
	自画像2	イラストによる自己表現 油彩画による自己の内面表現	a:イラスト表現、油彩表現について理解できているか b:独自な発想で制作に集中できたか c:集中力、自己評価	下絵	作品	作品観察
三学期		ロゴデザイン 名前のレタリング	a:構図、色だし、筆の使い方、混色について理解できているか b:デザインの機能や効果を理解し制作に集中できたか c:集中力、自己評価	ラフスケッチ	作品	作品観察
	色彩構成2	動きのあるものと動きのないものの対比を色彩構成する	a:独特な構図、発想を理解できているか b:色彩表現を理解し制作に集中できたか c:集中力、自己評価	下絵	作品	作品観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度